

家庭用電気製品強制認証のサンプル管理の品标样管理に関する注意事項

家庭用電気製品強制認証の試験結果の有効性、一貫性及びトレーサビリティを確保するため CQC は、一部の家庭用電気製品に対し、強制認証用標準サンプルの管理を実施する。

製造事業者及び工場は、有効的に CCC 認証の標準サンプルを保管するための、関連する注意事項について以下の通り説明する。:

1. 製造事業者/製造工場は、規定された時間内に CCC 認証標準サンプルを取戻さなければならない。
2. 製造事業者/製造工場は、製造場所にて妥当な方法で標準サンプルを保管しなければならない。
3. 製造事業者/製造工場は、適切な場所を提供し、標準サンプルを保管する。サンプルは、人為的な破壊あるいは環境的な影響を受けないことを保障しなければならない。
もし、標準サンプルの封印シートを破損、失効した場合、あるいは回避不能な原因（例えば：郵送時の破損どの）によって損壊した場合には、工場側は、その状況を CQC 産品認証二部に通知しなければならない。CQC 産品認証二部は、状況に応じて、試験室あるいは CQC 支社に委託し、再度標準サンプルに封印シートを付ける。必要に応じて、再度試験を行う場合は、それに関わるすべての費用は、問題を起こした者が負担する。
もし、工場側の原因で、標準サンプルの封印シールを破損、失効あるいはサンプルを損壊した場合、工場は、直ちに現場で製造する製品を提出し、従来試験した試験所にサンプルを提出し、再度試験/確認を行い、合格の後に、標準サンプルに封印シールをつけなければならない。これに関わる全ての費用は、工場が負担する。
4. 製造事業者/製造工場は、標準サンプルを保存しなければならない。
標準サンプルを保存していない場合は、関係者が製造現場からサンプル 2 台を抜き取り、製造工場は 15 日以内に、抜取ったサンプルを従来試験した試験所へ送付し、再確認を行う。合格の後に、標準サンプルを確定し、封印シートを付ける。その後、工場は、標準サンプルを取り戻して保管しなければならない。これに関わるすべての費用は、工場が負担する。
5. 製造事業者/製造工場に《標準サンプル封印登録表》及び《標準サンプルの使用記録》を保管しなければならない。保管しない場合、認証取得製品の認証ファイルを保管していないとみなされ、実施規則の要求に従い処理される。
6. 関係者が標準サンプルの封印を開封し、使用後に、元の通りに戻さなければならない。

封印シートを付けてから、《標準サンプルの使用記録》を記入しなければならない。記入しない場合は、工場側はそれによる損害賠償を請求することができる。

7. CQC 産品認証二部は、定期的に CQC 検査部（工場調査部）に工場の標準サンプルの管理状況を報告し、これらの情報は定期工場検査実施方針を決める際の根拠とする。
8. CQC 産品認証二部は、製造事業者/製造工場に対し、認証管理の規定に違反した内容が発覚し、深刻な違反内容が生じた場合には認証書を一時停止あるいは撤回する。同時に、その情報は認証任官監督管理部門及び地方認証監督管理部門に通報する。
9. 標準サンプルは、製品の品質に対し、仲裁時或いは認証取得後、認証機関が維持管理を行う際に使用するものとする。
10. 製造事業者/製造工場は、《封印サンプル用登記表》、《標準サンプルの使用記録》及び標準サンプルを保管しない場合は、これによって引き起こした全ての責任を工場が負担しなければならない。
11. 標準サンプルの撤回

標準サンプルの認証書は撤回された場合、企業から連絡を提出し、認証機関が確認後、従来の標準サンプルを自動的に撤回する。この標準サンプルに関連するその他の型式区分が、有効な認証書を維持している場合には、その標準サンプルは撤回しない。標準サンプルの認証書が撤回された場合には、標準サンプルに関連するその他の型式区分が、有効な認証書を維持している場合には、認証機関が確認後、その標準サンプルを撤回しない。有効な認証書が維持されていない場合には、標準サンプルは自動的に撤回される。

試験規格の版を更新し、認証品の標準サンプルを再提出された場合には、従来の標準サンプルは自動的に撤回される。

中国質量認証中心
二〇〇八年三月二十五日